

平成30年7月豪雨における土砂災害分野の活動状況 <緊急支援活動> ①

・平成30年7月豪雨により、全国で土砂災害の被害が最も大きかった広島県南部地域において、7月10日、土木研究所職員とともに、ヘリコプターにより、土石流の集中発生地域や土砂災害の概要を把握し、緊急点検の重点箇所や応急対策について中国地方整備局に技術的な助言をするとともに、土砂災害の特徴について、記者会見を行った。



ヘリコプターによる調査



中国地方整備局との打合せ



土砂災害現場の状況



記者会見

※写真はいずれも7月10日

- 平成30年7月豪雨により、天然ダムが発生した京都府福知山市において、7月10日、ヘリコプターによる上空からの調査及び現地調査を行うとともに、応急対策等について技術的助言を行った。



現地で調査内容の打合せを行う国総研職員(7月10日)



天然ダムの現地調査を行う国総研職員(7月10日)

- 平成30年7月豪雨により、四国地方で土砂災害の被害が最も大きかった愛媛県において、7月11日、土木研究所職員とともに、ヘリコプターにより、土石流の集中発生地域や土砂災害の概要を把握し、緊急点検の重点箇所や応急対策について整備局に技術的な助言をするとともに、土砂災害の特徴について、記者会見を行った。



ヘリコプターによる調査(7月11日)



記者会見(7月11日)

- ・平成30年7月豪雨により、甚大な土砂災害が発生した広島県において、台風12号の接近に伴う再度の土砂災害への留意事項と早期避難の必要性について、広島県知事及び関係市町長等へ助言を行うとともに、広島県知事からの依頼を受けて記者会見を実施し、台風接近時に懸念される状況について図・写真を用いて解説した。

※会議における広島県知事への助言（7月26日、27日）、市町長への電話による伝達（7月27日）、記者会見（7月27日）



記者会見の状況(7月27日)

- 平成30年7月豪雨時に発生した土砂災害の二次災害防止のため、広島県からの要請を受けて、国総研、土木研究所および北陸地方整備局のTEC-FORCEからなるアドバイザーチームが広島県庁内に設置され、被災自治体への警戒避難、応急復旧対策に関するアドバイスを実施した（7月19日～25日）。



アドバイスに先立つ現地調査(7月20日)



アドバイスに先立つ現地調査(7月23日)



自衛隊の復旧活動への助言(7月21日)



熊野町長へ調査結果の報告(7月21日)

- ・広島県内における平成30年7月豪雨による降雨分布と土砂災害発生箇所と比較
- ・愛媛県内における平成30年7月豪雨による降雨分布と土砂災害発生箇所と比較

■ 記者発表〈国総研ホームページ〉

発表日	件名
H30.7.9	土砂災害専門家(TEC-FORCE高度技術指導班)が京都府福知山市で発生した天然ダムの対応を支援します
H30.7.9	土砂災害専門家(TEC-FORCE高度技術指導班)が広島県内で発生した土砂崩れの二次災害防止の取組を支援します
H30.7.10	土砂災害専門家(TEC-FORCE高度技術指導班)が愛媛県内で発生した土砂崩れの二次災害防止の取組を支援します

■ 記者発表〈中国地方整備局ホームページ〉

発表日	件名
H30.7.19	土砂災害専門家による二次災害防止に関するアドバイスの実施について